

第263回福島県災害対策本部員会議
第9回福島県東日本大震災復旧・復興本部会議

○日 時：平成24年4月23日（月）10：00～10：30

○場 所：本庁舎2階 第一特別委員会室

○内 容

※災害対策本部員会議・・・省略

(1) 復旧・復興に関する事業の進捗状況について【概要】

保健福祉部長：別紙により説明

被災者の心のケア事業について、ふくしま心のケアセンターを2月1日に立ち上げ、4月13日に6方部に方部センターを開設した。市町村、保健福祉事務所と連携して避難が長期化されている避難者の方々の心のケアに努めて参りたい。

県民健康管理事業について、基本調査の回収率アップに努める。甲状腺検査については、2次検査を勧めるケースは極めて少なく、安心できる結果となっている。ホールボディカウンターでの内部被ばく検査については、35,000人を超える方の検査が終了しており、全員が健康に影響を及ぼすような結果ではなかった。

商工労働部長：別紙により説明

空き工場・空き店舗等による事業再開支援事業、工場・店舗等再生支援事業、産業復興支援事業について、合計1,656件、58億9,400万円ほど交付決定している。

中小企業等グループ施設等復旧整備補助事業について、1次から3次募集までの合計で86グループ1,071企業に対して389億円程度交付決定しており、3次募集の積み残しが240億ほどある状況。これらについては、今年度の申請受付が5月1日から5月30日まで行われる予定である。

ふくしま復興特別資金、震災対策特別資金について、24年度は、ふくしま復興特別資金として一本化している。

緊急雇用創出事業について、それぞれ3,891人、9,444人の実績を上げている。今年度の目標は、それぞれ3,000人、9,800人を目標としている。

4月20日に福島産業復興特区、投資促進特区の認定をいただいたので、今後、各企業から該当する案件について申し出があれば、それぞれ特区の特例を受けていただくことができることとなった。

産業復興の企業立地補助金の状況については、申請受付を終了し、内容精査中であるが、予想を上回る反響があり、予算が不足する見通しであり、知事に予算拡充について経済産業大臣に要望をお願いしたところである。

農林水産部長：別紙により説明

農地、農業用施設、林業施設に関する災害復旧事業について、全体で2,196カ所査定が終了し、3月末までに1,145カ所で工事に着手したところである。

漁場の瓦礫撤去について、延べ126,706名が参加し、瓦礫の撤去をすすめている。

共同利用漁船等復旧支援対策事業について、漁協等が行う共同利用に供する漁船・漁具に対する復旧支援を実施したところである。

被災農家経営再開支援事業について、33の復興組合が設立され、支援金が交付されたところである。

水産物安全流通対策事業について、ゲルマニウム半導体分析器を水産試験場及び相馬支場に配備し、分析体制を確立させたところである。

土木部長：別紙により説明

国庫負担法に基づく災害復旧事業について、警戒区域を除く災害査定は、23年度中に全て完了し、1,615カ所のうち6割で復旧工事に着手し、約4割で工事が完了している。

地域別では、会津方部では87%、中通り86%、浜通りでは13%の完了となっている。

その他の土木工事についても記載のとおりであり、今後とも復旧・復興に努めてまいりたい。

教育長：別紙により説明

ふくしまっ子体験活動応援事業について、子どもが伸び伸びと自然体験活動等を行う機会を提供するもので、申請件数が11,382件、397,881人の参加者で行った。今年度は、昨年度の実績を踏まえ、利用が集中しやすい夏休み、冬休みを利用して宿泊を伴う体験を実施する場合に補助を行うこととしている。

企画調整部長

復旧・復興本部事務局では、機動的・迅速に事業が実施できるよう、今年度からすべての部局に班体制を確立し、取り組んでいくこととしているので、よろしく願います。

災害対策と復旧復興を一体的に進めるということで、毎月1回程度復旧・復興本部会議は、災害対策本部員会議と合同会議という形で開催したいと考えている。

開催の際には、進捗状況を報告いただき、復興に向けて今何が必要とされているのかを皆さんで議論、意見交換をしていただきたい。復興計画に基づき確実に復興が進むようにこの場でしっかりとマネジメントしていきたい。

なお、復興計画の見直し、復興再生基本方針に対する県の意見等を決定する場合は、個別に単独で復旧・復興本部会議を開催したいと考えているので、協力をお願いします。

知事

復旧・復興に関して、ご苦労様。できる限り、極力、堅実に復旧・復興を急いでいただきたい。それが福島県の次の進み方の礎となる。

昨日示された復興再生基本方針の素案について、それぞれの部局、他から見て気づくところが多々あるので、自分のところと全体をよく見ながら提言、提案できればしっかり行っていただきたい。

以上